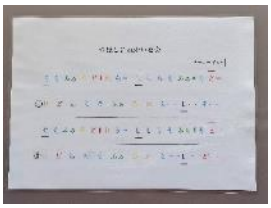
教材教具および題材	学部	授業名（主たる教科領域）	執筆者
星に願いを ～キーボード＆トーンチャイム＆鉄琴～	高	音楽 Ⅱグループ （音楽）	

＜ねらい＞
・周りの音を聴きながら、楽器を奏でることができる。
・多種の楽器を用いる合奏の面白さを感じる。

＜内容（作成方法・使用方法・工夫点など）＞
・映画の一部分など曲が使用されている動画を鑑賞し、『星に願いを』を知る。
・キーボードで、順次進行で下降する部分の練習をする。
（全て白鍵で弾けるように Cdur を使用する。）
・トーンチャイムの鳴らすタイミングを手拍子によって確認する。
（既習である拍子と関連させ、4 拍子の 1 拍目であることを伝える。）
・トーンチャイムを 1 人 2 個持ち、4 人ずつピアノにあわせて練習する。
（4 色に色分けし、音ではなく色でタイミングを指示する。）
・鉄琴で、曲全体のメロディラインをピアノにあわせて練習する。
（キーボードやトーンチャイムの練習と並行して行う。）
・合奏時に演奏したい楽器を希望を元に決定する。
（欠席者への配慮を丁寧に行う。）
・キーボード、トーンチャイム、鉄琴を同時に演奏する練習を行う。
（初めは手厚く指示を出し、慣れ次第周りの音楽を聴いてタイミングを計らせる。）
・発表を見合い、聴いている生徒は演奏終了時に拍手を行う。

トーンチャイム・鉄琴楽譜


キーボード楽譜

色分けしたトーンチャイム

＜良かった点・改善点（児童生徒の反応を含め）＞
・教師による模範演奏を見る機会を設定することで、演奏のタイミングや演奏方法などを興味をもって理解することができた。
・トーンチャイムを色分けすることで、演奏のタイミングの指示が伝わりやすくなった。
・鉄琴パートを加えることにより、鍵盤楽器の演奏が突出して得意な子も退屈せずに参加することができた。

＜その他（材料、費用、購入先等）＞
・iPad・HDMI 変換アダプタ・トーンチャイム・鉄琴・卓上鉄琴・アップライトピアノ
・キーボード・大型テレビ